

秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正することについて

秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を別紙のとおり改正するものとする。

令和元年 12 月 6 日提出

提出者	秦野市議会議員	谷	和	雄	
賛成者	同	小	菅	基	司
	同	大	野	祐	司
	同	山	下	博	己

提案理由

市議会議員の期末手当の支給率を引き上げるため、改正するものであります。

秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
の一部を改正する条例

秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例（昭和31年秦野市条例第29号）の一部を次のように改正する。

第6条第2項の表以外の部分中「100分の212.5」を「100分の215」に改める。

附則に次の1項を加える。

（令和元年12月の期末手当支給率の特例）

11 令和元年12月1日を基準日とする期末手当の支給率は、100分の217.5とする。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、この条例による改正後の秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例附則第11項の規定は、令和元年12月1日から適用する。

議提議案第6号 秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案新旧対照表

新	旧		
<p>(期末手当)</p> <p>第6条 (略)</p> <p>2 期末手当の額は、基準日現在(前項後段に規定する者にあつては、任期満了、辞職、失職、除名、死亡又は議会の解散によりその職を離れた日現在)において、その者が受けるべき議員報酬月額及びこれに100分の20を乗じて得た額を加算した額、<u>100分の215</u>を乗じて得た額に、基準日以前6か月以内の期間におけるその者の在職期間に応じて、次の表に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <table border="1" data-bbox="185 799 1099 852"> <tr> <td>(略)</td> </tr> </table> <p>3-5 (略)</p> <p>附 則</p> <p>1-10 (略)</p> <p><u>(令和元年12月の期末手当支給率の特例)</u></p> <p>1.1 <u>令和元年12月1日を基準日とする期末手当の支給率は、100分の217.5とする。</u></p>	(略)	<p>(期末手当)</p> <p>第6条 (略)</p> <p>2 期末手当の額は、基準日現在(前項後段に規定する者にあつては、任期満了、辞職、失職、除名、死亡又は議会の解散によりその職を離れた日現在)において、その者が受けるべき議員報酬月額及びこれに100分の20を乗じて得た額を加算した額、<u>100分の212.5</u>を乗じて得た額に、基準日以前6か月以内の期間におけるその者の在職期間に応じて、次の表に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <table border="1" data-bbox="1167 799 2080 852"> <tr> <td>(略)</td> </tr> </table> <p>3-5 (略)</p> <p>附 則</p> <p>1-10 (略)</p>	(略)
(略)			
(略)			

附 則

この条例は、公布の日から施行し、この条例による改正後の秦野市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例附則第11項の規定は、令和元年12月1日から適用する。